

法学委員会 グローバル化と法分科会（第26期・第1回）
議事要旨

日 時：令和6年1月5日（金） 17：00～17：35

場 所：オンライン開催

出席者：（定足数を満たし成立）小畑郁、川嶋四郎、浅田正彦、阿部克則、岩澤雄司、江島晶子、片山直也、金山直樹、河野真理子、笹倉香奈、佐藤義明、瀧川裕英、竹村仁美、中谷和弘、濱真一郎、早川眞一郎、林秀弥、林貴美、平山幹子、高山佳奈子(オブザーバー)

欠席者：浅野有紀

<議事>

（1）役員の選出

小畑郁会員を委員長、河野真理子連携会員を副委員長、竹村仁美連携会員を役員として選出した。

（2）第26期「グローバル化と法」分科会の運営方針について

本分科会から前期の当分科会委員長を務めた高山佳奈子（京都大学）を特任連携会員として推薦することと申請書作成を委員長に一任することが承認された。

（3）立ち上げの方針とその実施について

役員を中心に作業部会を立ち上げ、各委員の要望を踏まえて26期に取り組む課題を検討し、全体会合を準備するかたちで運営していくことが了承された。

（4）その他

川嶋委員より、前期分科会の発出した「見解 グローバル化をめぐる法的諸課題に対応できる人材の養成」を踏まえた上で、今期で取り組むべき課題を設定することの重要性が指摘された。前期に当分科会が出した「見解」にすべての委員が目を通した上で、当該「見解」を拡大・発展する方向で課題を設定していく方針を確認した。課題に取り組む際には、関連する他分科会との連携を行うこととなった。

中谷委員と川嶋委員から今後の会合日程に関する質問が出され、小畑委員長からは2月下旬から3月初めに次回会合（オンライン）を持つことが提案され、了承された。